

令和4年度使用教科用図書選定のための資料

学校教育法附則第9条教科用図書（一般図書）

岩手県教育委員会

令和4年度使用学校教育法附則第9条の規定による教科用図書(見本)理由書一覧

1 図書名

No.	出版社	書名	該当教科	障がい種	学部・学年等	価格 (税込)
1	あすなろ	日本語オノマトペのえほん	国語	聴覚障がい	中学部2年 (重複学級)	¥1,540
2	カドカワ	ふーってして	図画工作	肢体不自由	小学部5年 (重複学級)	¥1,320
3	カドカワ	くれよん ぐりぐり	図画工作	知的障がい	小学部2年	¥1,320
4	教育画劇	すき! I like it!	外国語	知的障がい	中学部2年	¥1,320
5	金の星社	おとのでる えいごのうたえほん	音楽	肢体不自由	中学部3年 (重複学級)	¥1,760
6	くもん出版	100円たんけん	職業・家庭	病弱	中学部2年 (重複学級)	¥1,430
7	交通新聞	きせつのぎょうじ きょうは なんのひ?	生活	知的障がい	小学部5年	¥1,210
8	小学館	どちらが おおい? かぞえるえほん	算数	視覚障がい	小学部3年 (重複学級)	¥2,090
9	成美堂出版	いっぱいスイッチ	国語	視覚障がい	小学部1年 (重複学級)	¥2,200
10	汐文社	今日からやろう お手伝いはわたしの仕事 3 身だしなみ編	職業・家庭	知的障がい	中学部1年	¥2,530
11	パイインタ	世界とであう えほん	社会	病弱	中学部2年 (重複学級)	¥1,980
12	ひさかた	おすしの さかな	理科	知的障がい	中学部1年	¥1,320
13	PHP	わくわく! かたちのえほん	算数	聴覚障がい	小学部4年 (重複学級)	¥1,760
14	福音館	サンドイッチ サンドイッチ	国語	知的障がい	小学部4年	¥990
15	福音館	まどのむこうの くだもの なあに?	生活	視覚障がい	小学部2年 (重複学級)	¥1,210
16	ポプラ社	こえでおぼえる123かずのほん	数学	視覚障がい	中学部1年 (重複学級)	¥2,200
17	ポプラ社	どうぶついろいろかくれんぼ	図画工作	病弱	小学部1年 (重複学級)	¥968
18	ポプラ社	ほしのさんちのおそうじ だいさくせん	生活	聴覚障がい	小学部6年 (重複学級)	¥1,430
19	ほるぷ出版	くにゃ?	算数	肢体不自由	小学部1年 (重複学級)	¥935
20	リーブル	しりとりしましょ!	国語	知的障がい	小学部5年	¥1,980

2 一般図書選定の理由書(次頁)

一般図書選定の理由書

番 号	1
--------	---

学校名 _____

担当者名 _____

図 書 名	日本語オノマトペのえほん	発 行 者 名	あすなろ		
図 書 の 内 容	<p>本書は、擬音語、擬態語であるオノマトペについて、どんな様子の際に使うのか、絵や平仮名、片仮名で分かりやすく紹介されており、感じたことを豊かに表現するための言葉を習得できる内容となっている。</p> <p>また、「笑う」、「食べる」、「歩く」などの日常的な多様な動作についても、絵や文章で様子を表しながらオノマトペを記載し、豊かな言語力の育成につながる内容となっている。</p>				
対 象 学 年	中学部2年（重複学級）	障がい種別	聴覚障がい	該当教科	国語
選 定 の 理 由	児童生徒の実態	<p>本生徒は、聴覚障がいがあり、聴力が左右とも 80dB で、知的発達が6歳程度である。補聴器をつけた状態で、ゆっくりと大きな声で話す言葉を聞き取ることができる。また、日常生活はほぼ自立しており、明るい性格で、積極的にコミュニケーションをとろうとすることが多い。</p> <p>その日の出来事の発表や作文等の学習場面では、限られた言葉で表現することが多いため、本書を活用しながら言葉を楽しく学び、オノマトペを発表や作文に加えたり、オノマトペを説明している文章から新たな言葉を学んだり、確かな言語力の育成へとつなげることが期待できる。</p>			
	指導の概略	<p>(1) 好きなオノマトペを探しながら、自由に絵本を読む。</p> <p>(2) 「オノマトペ」とは何かを考え、発表する。</p> <p>(3) 「いっぱい笑う」のオノマトペを確認する。</p> <p>(4) 「いっぱい笑う」の中のオノマトペを使って文章を作り、発表する。</p> <p>(5) 「いっぱい食べる」のオノマトペを確認する。</p> <p>(6) 「いっぱい食べる」の中のオノマトペを使って文章を作り、発表する。</p> <p>(7) 「たくさん歩く」のオノマトペを確認する。</p> <p>(8) 「たくさん歩く」の中のオノマトペを使って文章を作り、発表する。</p> <p>(9) 適切なオノマトペを記入して文章を完成させるプリントに取り組む。</p> <p>(10) 年間を通して、作文などの表現活動場面で本書を活用しながら取り組む。</p> <p>(11) 学習を振り返る。</p>			

(記入上の注意)

- 1 対象学年の（ ）は、訪問教育及び重複学級の場合に記入すること。
- 2 「児童生徒の実態」は、下記の観点で記入すること。
 - (1) 該当教科との関連で実態を具体的に記入すること。
 - (2) 選定した図書の有効性・必要性について記入すること。
- 3 「指導の概略」は、教科書の利用による指導内容・方法の概略を記入すること。

一般図書選定の理由書

番 号	2
--------	---

学校名 _____

担当者名 _____

図 書 名		ふーってして	発 行 者 名	カドカワ		
図 書 の 内 容		<p>本書は、真っ白な画用紙に、色水をぼとりとたらし、ストローでふーっと息を吹きかけると、次のページでは楽しい絵に変わることが描かれた図書である。筆やクレヨンで描くのではなく、たらした色水にふーっと息を吹きかけたり、風を送ることができる道具を使ったりして、色水をのぼすことで絵が完成する楽しみや美しさに触れることができる。</p> <p>また、巻末には、ふーっと息を吹きかけて絵を描く方法がかいており、実際の活動につなげることができる内容となっている。</p>				
対 象 学 年		小学部5年（重複学級）	障がい種別	肢体不自由	該当教科	図画工作
選 定 の 理 由	児 童 生 徒 の 実 態	<p>本児童は、肢体不自由と知的障がいを併せ有している。脳性まひにより、両下肢機能障がいがあるため、日常的に車椅子を使用している。上肢は、比較的しっかりしており、クレヨンで絵を描くことができる。また、音楽の学習や休み時間には好んで鍵盤ハーモニカを演奏している。</p> <p>本書を活用して、クレヨンや絵の具以外の用具を使った表現方法を知り、実際に息を吹きかけて絵を描いてみることで、色水がのびていく様子を楽しんだり、表し方の工夫による変化を楽しんだり、友達の商品から表現の様子を想像したりすることが期待できる。息を吹きかけることが困難な場合や、感染症の心配がある場合などは、送風機を使用することも考えられる。</p>				
	指 導 の 概 略	<p>(1) 教師と一緒に読む。</p> <p>(2) 本書にふーっと息を吹きかけながら、読む。</p> <p>(3) 「ふーってして美術館」を開くことを知る。</p> <p>(4) 好きなページの絵を選ぶ。</p> <p>(5) 巻末のふーっと息を吹きかけて絵を描く方法を見ながら描く。</p> <p>(6) 友達と作品を見せ合い、感想を伝え合う。</p> <p>(7) 他のページの絵にも挑戦する。</p> <p>(8) 植物、動物、人、乗り物など自分の好きな絵を描いて色水をたらし、息を吹きかけたり、風を送ったりして作品をつくる。</p> <p>(9) 一番気に入った作品を「ふーってして美術館」に掲示する。</p> <p>(10) 見に来た友達から感想をもらう。</p> <p>(11) 新しい表現方法のよさを発表し、学習を振り返る。</p>				

(記入上の注意)

- 1 対象学年の()は、訪問教育及び重複学級の場合に記入すること。
- 2 「児童生徒の実態」は、下記の観点で記入すること。
 - (1) 該当教科との関連で実態を具体的に記入すること。
 - (2) 選定した図書の有効性・必要性について記入すること。
- 3 「指導の概略」は、教科書の利用による指導内容・方法の概略を記入すること。

一般図書選定の理由書

番 号	3
--------	---

学校名 _____

担当者名 _____

図 書 名	くれよん ぐりぐり	発 行 者 名	カドカワ		
図 書 の 内 容	<p>本書は、「なにかくの？」の言葉とともにページを広げるたびに、色とりどりのくれよんたちが動き、花や動物、乗り物を描いていくストーリーである。クレヨンが動くことにより、徐々に形づくられてくことの楽しさを感じ、クレヨンへの興味・関心を育てながら、クレヨンを使って塗ったり、線を描いたり、模様を描いたりすることへの意欲が高めることができる図書である。</p>				
対 象 学 年	小学部2年	障がい種別	知的障がい	該当教科	図画工作
選 定 の 理 由	児 童 生 徒 の 実 態	<p>本児童は、知的発達が3歳程度であり、衣服の着脱や食事などでは、自分でやろうとすることが増え、ボタンなどが無い服であれば、教師からの最小限の支援で服を脱いだり着たりすることができるようになってきた。</p> <p>形や色などについても気付いてきており、身近な用具を使って自分の思いを表現しようとしている。本書を活用することで、クレヨンなどの用具や色への興味が高まり、造形遊びの楽しさを味わうとともに、新たな制作への意欲につなげることが期待できる。</p>			
	指 導 の 概 略	<p>(1) 教師と一緒に読む。</p> <p>(2) 本に登場するくれよんたちを指さしながら、教師と一緒に色の名前を確認する。</p> <p>(3) 自分のクレヨンを見て、教師と一緒に色の名前を言う。</p> <p>(4) 好きなクレヨンを選んで、「くれよん ぐりぐり」の声かけに合わせて、紙に色を塗り、花の形にくり抜いた紙を重ねて花を作る。</p> <p>(5) (4) について、いろいろな色のクレヨンで花を作り、花畑を作る。</p> <p>(6) 学習を振り返る。</p> <p>(7) 年間を通して、クレヨンを使う学習場面で本書を活用し、「くれよん ぐりぐり やってみよう」と、学習意欲を高める。</p>			

(記入上の注意)

- 対象学年の()は、訪問教育及び重複学級の場合に記入すること。
- 「児童生徒の実態」は、下記の観点で記入すること。
 - 該当教科との関連で実態を具体的に記入すること。
 - 選定した図書の有効性・必要性について記入すること。
- 「指導の概略」は、教科書の利用による指導内容・方法の概略を記入すること。

一般図書選定の理由書

番 号	4
--------	---

学校名 _____

担当者名 _____

図 書 名	すき！ I like it！	発 行 者 名	教育画劇		
図 書 の 内 容	<p>本書は、右から開くと縦書きの日本語で、左から開くと横書きの英語で読むことができる図書である。犬、猫、ネズミ、象が登場しながら、「わたしは〇〇。」「〇〇は～すき。」という文章を日本語と英語で繰り返し扱っており、慣れ親しみやすく、物語としても興味深い。「すき」というやさしい言葉を学ぶことは、人と人をつなぐ言葉の大切さについても味わうことができる図書である。</p>				
対 象 学 年	中学部2年	障 が い 種 別	知的障がい	該 当 教 科	外 国 語
選 定 の 理 由	児 童 生 徒 の 実 態	<p>本生徒は、知的発達が6歳程度である。教師や友達とかかわることは好むが、音声言語でのコミュニケーションを通じた遊びや身体を動かす遊びよりも、好きな動物の絵本を読んだり、外での散歩や砂遊びをしたりして一人で過ごすことを好む。</p> <p>本書は、明るくやわらかなタッチの挿絵により場面が分かりやすく、本生徒が好む動物や自然が題材となっている。そこで、本書を活用し、本生徒にとって身近な事物の語句や表現を用いて、体験的な言語活動を繰り返すことにより、英語の音声や基本的な表現等、コミュニケーションを図る素地を育てることができる。と考える。</p>			
	指 導 の 概 略	<p>(1) 教師と一緒に日本語で読み、あらすじを楽しむ。</p> <p>(2) 教師と役割を分けながら、1ページずつ日本語と英語で読む。</p> <p>(3) 左から本書を開き、英語で読んだり、場面に応じた身体表現をしたりする。</p> <p>(4) 学校を訪問する外国の方と仲良くなりたいたいという思いをもつ。</p> <p>(5) 自分の名前や好きなこと、好きなものなどを英語で話す。</p> <p>(6) 英語で友達が話す名前や好きなこと、好きなものなどを聞く。</p> <p>(7) 名前や好きなこと、好きなものなどを友達と順番に話す。</p> <p>(8) 学校を訪問する外国の方に、本書を読んだり自己紹介をしたりする。</p> <p>(9) 学習を振り返る。</p>			

(記入上の注意)

- 対象学年の()は、訪問教育及び重複学級の場合に記入すること。
- 「児童生徒の実態」は、下記の観点で記入すること。
 - 該当教科との関連で実態を具体的に記入すること。
 - 選定した図書の有効性・必要性について記入すること。
- 「指導の概略」は、教科書の利用による指導内容・方法の概略を記入すること。

一般図書選定の理由書

番 号	5
--------	---

学校名 _____

担当者名 _____

図 書 名	おとのでる えいごのうたえほん		発 行 者 名	金の星社	
図 書 の 内 容	<p>本書は、親しみやすい日常的な英語の曲9曲が、伴奏と歌付きの2種類で流れる音の出る図書である。</p> <p>厚い紙を使用していることで、比較的大きな動作でページをめくることができたり、繰り返しの使用に耐えることができるつくりとなっている。また、電源スイッチと9個の選曲ボタン、伴奏、歌の切り替えボタンといったシンプルなつくりで操作しやすい。</p> <p>音楽の学習以外にも外国語の学習にも活用することができる図書である。</p>				
対 象 学 年	中学部3年(重複学級)	障 が い 種 別	肢 体 不 自 由	該 当 教 科	音 楽
選 定 の 理 由	児 童 生 徒 の 実 態	<p>本生徒は、肢体不自由と知的障がいを併せ有している。脳性まひにより、両上肢、両下肢機能障がいがあるため、車椅子で生活している。右にまひがあるが、ボタン操作などは左手で行うことができる。教師の言葉はある程度理解しているが、表現手段は、音声言語ではなく身振りで表すことが多い。音楽を聴くことを好み、聴きながら自分なりの表現で体を動かしたり、楽器を鳴らしたりして楽しむことができる。特に英語の曲を好み、休み時間にも聴いていることが多い。</p> <p>本書は、生徒自身が操作することができ、進んで音楽に関わることも期待できる。</p>			
	指 導 の 概 略	<p>(1) 本書の操作の仕方を確認する。</p> <p>(2) 9曲を順番に聴く。</p> <p>(3) 気に入った曲に合わせて体を動かしてみる。</p> <p>(4) 気に入った曲に合った楽器を考える。</p> <p>(5) (4) で考えた楽器を使って曲に合わせて演奏する。</p> <p>(6) 曲の中で、気に入った部分を発表し合う。</p> <p>(7) お互いの音楽表現を鑑賞し、感想を伝え合う。</p> <p>(8) (3) ~ (6) を繰り返す。</p> <p>(9) 友達の演奏を聴いて、やってみたいことを発表し、学習を振り返る。</p>			

(記入上の注意)

- 1 対象学年の()は、訪問教育及び重複学級の場合に記入すること。
- 2 「児童生徒の実態」は、下記の観点で記入すること。
 - (1) 該当教科との関連で実態を具体的に記入すること。
 - (2) 選定した図書の有効性・必要性について記入すること。
- 3 「指導の概略」は、教科書の利用による指導内容・方法の概略を記入すること。

一般図書選定の理由書

番 号	6
--------	---

学校名 _____

担当者名 _____

図 書 名	100円たんけん	発 行 者 名	くもん出版		
図 書 の 内 容	<p>本書は、コンビニエンスストアでお菓子を買ったことをきっかけに、商店街のいろいろな店で、100円だと何が買えるのかを母親と一緒に調査しながら、物の値打ちを考えていく図書である。</p> <p>また、商店街にあるたくさんの店での買い物場面が描かれており、算数・数学で学習した内容を基にしなが、買い物の仕組みや必要な物の選び方などについて考えることにつなげることができる図書である。</p>				
対 象 学 年	中学部2年(重複学級)	障がい種別	病弱	該当教科	職業・家庭
選 定 の 理 由	児 童 生 徒 の 実 態	<p>本生徒は、慢性疾患のため、入退院を繰り返している。退院しても自宅療養が多く、買い物などの経験はほとんどない。数学は、文部科学省著作教科書を使用して学習しており、学習時間にどこのコンビニエンスストアには何が売っているかなど、テレビやインターネットから得た情報を教師に伝えることがある。</p> <p>本書を活用しながら、100円でどんなものが買えるのか、同じ100円でも品質や量が違うことを深く考えたり、目的に合った買い物について考えたりしながら、生活に必要な物の選び方、買い方、計画的な使い方などについて学ぶことにつなげることが期待できる。</p>			
	指 導 の 概 略	<p>(1) 本書を読む。</p> <p>(2) 疑問に思ったことや、不思議だと思ったことを発表する。</p> <p>(3) 10個のお菓子の中から100円で買えるお菓子を選ぶ。</p> <p>(4) 100円ショップの商品から、自分にとって必要な物を選び、発表する。</p> <p>(5) 商店街の店ごとに疑問に思ったことについて調査する。</p> <p>(6) 生活の中で調べてみたい物の値打ちについて考える。</p> <p>(7) スーパーのちらしなどを活用して、物の値打ちについて調べる。</p> <p>(8) 調べて分かったことをまとめる。</p> <p>(9) 学習を通して、これからの生活に生かしたいことを発表し、学習を振り返る。</p>			

(記入上の注意)

- 1 対象学年の()は、訪問教育及び重複学級の場合に記入すること。
- 2 「児童生徒の実態」は、下記の観点で記入すること。
 - (1) 該当教科との関連で実態を具体的に記入すること。
 - (2) 選定した図書の有効性・必要性について記入すること。
- 3 「指導の概略」は、教科書の利用による指導内容・方法の概略を記入すること。

一般図書選定の理由書

番 号	7
--------	---

学校名 _____

担当者名 _____

図 書 名	きせつのぎょうじ きょうは なんのひ?		発 行 者 名	交通新聞	
図 書 の 内 容	<p>本書は、季節の行事を「きょうは なんのひ？」の問いかけにのせてページを広げながら紹介するしかけ絵本である。それぞれの行事の名称や様子などを、絵と簡単な文字でまとめられており、その特徴を理解することができる。</p> <p>リズム感のある短い文章や明るい色彩の絵で記されており、読む楽しさ、ページを広げる楽しさを感じながら、それぞれの季節の行事に親しみを持つことにつながる図書である。</p>				
対 象 学 年	小学部5年	障がい種別	知的障がい	該当教科	生活
選 定 の 理 由	児 童 生 徒 の 実 態	<p>本児童は、知的発達が7歳程度である。友達や教師とのコミュニケーションをとることが好きで、身の回りのさまざまなことに興味を持ち取り組もうとするなど、体験的な学習を好む児童である。そのため、実際の生活と関連付けながら学習を進めることで理解が深まっていくと考える。</p> <p>本書を活用し、1年間の季節の行事について関心を持ち、いろいろな遊びを知ったり実際にやってみたりすること、きまりについて考えたりすることが期待できる。身近な行事を通して1年間の見通しを持つことや、絵の服装を通して身なりについても取り扱うことができる図書でもある。</p>			
	指 導 の 概 略	<p>(1) 教師と一緒に読み、季節の行事の名前や意味、楽しみ方を確かめる。</p> <p>(2) 季節の行事について自分の知っていることを発表する。</p> <p>(3) 季節の行事を通して、1年間の見通しや服装などについて考える。</p> <p>(4) 季節の行事について、これまでの体験や知っていることを発表し、同じところや違うところに気付く。</p> <p>(5) 学校生活の中でできそうな季節の行事や遊びを考える。</p> <p>(6) (3) で気付いた点を取り入れる等工夫をしながら、行事を計画する。</p> <p>(7) 自分たちで工夫した行事を行う。</p> <p>(8) 行事实施後の感想を作文や絵等で発表する。</p> <p>(9) 学習を振り返る。</p>			

(記入上の注意)

- 1 対象学年の()は、訪問教育及び重複学級の場合に記入すること。
- 2 「児童生徒の実態」は、下記の観点で記入すること。
 - (1) 該当教科との関連で実態を具体的に記入すること。
 - (2) 選定した図書の有効性・必要性について記入すること。
- 3 「指導の概略」は、教科書の利用による指導内容・方法の概略を記入すること。

一般図書選定の理由書

番 号	8
--------	---

学校名 _____

担当者名 _____

図 書 名	どちらが おおい? かぞえるえほん		発 行 者 名	小学館	
図 書 の 内 容	<p>本書は、触って形がわかる絵と、墨字と点字の文章がかかっている図書である。盛り上げ印刷が施された絵を指でたどって、いろいろな物の数を数えることができる。また、つるつるやざらざら、長短、左右、形の違い、数の多少について触って調べることができるようになっている。「たねが10個のスイカはなんきれある?」のように、クイズ形式のページもあり楽しく学べる図書であり、点字の導入期にも使用できる図書となっている。</p> <p>本書は、シールを貼ったりはがしたりできる厚い紙でできているため、印をつけて学習することが可能である。</p>				
対 象 学 年	小学部3年(重複学級)	障がい種別	視覚障がい	該当教科	算数
選 定 の 理 由	児 童 生 徒 の 実 態	<p>本児童は、知的発達が5歳程度で、全盲の児童である。100までの数の数唱ができ、20までの物の数を数えることができる。点字は、人の名前や時間割など、ひとまとまりとして、読めるようになってきた。</p> <p>本書を活用し、それぞれのページの絵を触りながら、大きさや長さ、形を考えたり、数を数えたりすることにより、数、図形、測定の幅広い内容を学習することができると思う。</p> <p>点字の文章の一部が読めることで、さらに楽しく学習できると考えられ、絵を触って学習することにも慣れると思われる。</p>			
	指 導 の 概 略	<p>(1) 教師と一緒に点字の文章を読む。 (2) 対象の属性を確かめる。 (3) 対象の大きさについて考える。 (4) 対象の長さについて考える。 (5) 対象の形について考える。 (6) 対象の数等について考える。 (7) どちらが多いか考える。 (8) 点字の文章の中で、知っている言葉や点字を指先や言葉で伝える。 (9) 学習を振り返り、気付いたことやできたことを発表する。</p>			

(記入上の注意)

- 1 対象学年の()は、訪問教育及び重複学級の場合に記入すること。
- 2 「児童生徒の実態」は、下記の観点で記入すること。
 - (1) 該当教科との関連で実態を具体的に記入すること。
 - (2) 選定した図書の有効性・必要性について記入すること。
- 3 「指導の概略」は、教科書の利用による指導内容・方法の概略を記入すること。

一般図書選定の理由書

番 号	9
--------	---

学校名 _____

担当者名 _____

図 書 名	いっぱいスイッチ	発 行 者 名	成美堂出版		
図 書 の 内 容	<p>本書は、動作や感情を表す言葉、身近な音や楽しくなるような音が平仮名と絵でかかっている。本書に描かれている絵のスイッチやボタンは、本書に実際に付属されている。付属している実際のスイッチを操作すると、本書に書かれている言葉などの音声が流れたり光ったりすることにより、読むことと操作することなど、一体となって楽しむことができる絵本であり、繰り返し操作することに耐えることができる素材の図書である。</p>				
対 象 学 年	小学部1年(重複学級)	障がい種別	視覚障がい	該当教科	国語
選 定 の 理 由	児 童 生 徒 の 実 態	<p>本児童は、知的発達が2歳程度で、全盲の児童である。教師と一緒にであれば、初めての物を触ったり、初めてのことに取り組んだりすることができるようになってきた。言葉は、日常生活の中の簡単な声かけに応じることができる。</p> <p>本書を教師と一緒に繰り返し活用することにより、安心感を持ちながら好きなスイッチを見つけたり、言葉と動作を結びつけたりすることにつなげていくことが期待できる。また、教師の「くるりん、やっごらん」などの声かけにより、実際に操作したり、「くるりん」という言葉を話したりしながらやり取りを楽しむことにもつなげることができる。と考える。</p> <p>教師と一緒にスイッチを上下左右にスライドさせたり、ボタンを押したり、玉を転がしたり、プラグをコンセントに刺しこんだりするなどの操作を通したやり取りを楽しむことも期待できる。</p>			
	指 導 の 概 略	<p>(1) スイッチを一つずつ教師と一緒に触って操作する。</p> <p>(2) それぞれのスイッチを操作しながら、本書に書かれている言葉を話す。</p> <p>(3) 好きなスイッチを選び繰り返し操作したり、教師とのやり取りを楽しんだりする。</p> <p>(4) 「ビョーン!はどれ?」の教師の声かけに応じて、スイッチを操作する。</p> <p>(5) 身の回りのスイッチを押してみる。</p> <p>(6) 学習を振り返る。</p>			

(記入上の注意)

- 1 対象学年の()は、訪問教育及び重複学級の場合に記入すること。
- 2 「児童生徒の実態」は、下記の観点で記入すること。
 - (1) 該当教科との関連で実態を具体的に記入すること。
 - (2) 選定した図書の有効性・必要性について記入すること。
- 3 「指導の概略」は、教科書の利用による指導内容・方法の概略を記入すること。

一般図書選定の理由書

番 号	10
--------	----

学校名 _____

担当者名 _____

図 書 名	今日からやろう お手伝いはわたしの仕事 3 身だしなみ編		発 行 者 名	汐文社	
図 書 の 内 容	<p>本書は、生活していく上で欠かせない洗濯や服の整理の仕方など、身だしなみに関わる内容について、写真や簡単な文章で手順などを分かりやすく紹介している。さらに、準備する道具や注意すべき点、手作りグッズの作り方なども丁寧に書かれており、日常着の手入れの仕方や整頓の仕方など、自分もやってみたいという意欲が高まる内容となっている。</p> <p>「ステップポイント」として、取り組みやすい内容や取り組み始めるタイミングなども盛り込まれており、挑戦する気持ちを助けてくれる図書となっている。</p>				
対 象 学 年	中学部1年	障がい種別	知的障がい	該当教科	職業・家庭
選 定 の 理 由	児 童 生 徒 の 実 態	<p>本生徒は、知的発達が7歳程度の生徒である。身の回りのことがほぼ一人ででき、係の仕事に毎日欠かさず取り組むことができる。家庭でも簡単なお手伝いができるようになり、「ありがとう」と声をかけられることに喜びを感じている。</p> <p>本書を活用することにより、衣服の手入れ、快適な住まい方などについて段階的に理解を深め、学校生活や家庭生活で取り組むことが期待できる。また、本生徒は、将来、グループホームでの生活も視野に入れていることから、実際の生活を想定しながら学習活動に取り組み、できるようになったことを本書に印をつけるなどして確認することにより、自信につなげていくことも期待できる。</p>			
	指 導 の 概 略	<p>(1) 「お手伝いチェックリスト」を教師と一緒に読み、実践したことがあるものに印を付け、身だしなみに関わる項目を確認する。</p> <p>(2) 「洗濯」を教師と一緒に読み、タオル、Tシャツ、靴下を実際に洗濯する。</p> <p>(3) 「洗濯物を干す・取り込む」を教師と一緒に読み、実際に干す。</p> <p>(4) 乾いた洗濯物を取り込み、「洗濯物をたたむ」を教師と一緒に読み、実際にたたむ。</p> <p>(5) 牛乳パックで靴下ボックスを制作する。</p> <p>(6) 「洗濯」に関する学習を振り返り、自分の「洗濯手順表」を作成する。</p> <p>(7) 「上ばきを洗う」「シミ抜き」「着られない服・いらぬ布の整理」「手洗い」「服選び」などについても読み、実際に行い、振り返る。</p>			

(記入上の注意)

- 1 対象学年の()は、訪問教育及び重複学級の場合に記入すること。
- 2 「児童生徒の実態」は、下記の観点で記入すること。
 - (1) 該当教科との関連で実態を具体的に記入すること。
 - (2) 選定した図書の有効性・必要性について記入すること。
- 3 「指導の概略」は、教科書の利用による指導内容・方法の概略を記入すること。

一般図書選定の理由書

番 号	11
--------	----

学校名 _____

担当者名 _____

図 書 名	世界とであうほん	発 行 者 名	パイインタ		
図 書 の 内 容	<p>本書は、世界の国々の衣装、住居、食べ物、市場、乗り物、祭り、言語といった各国の文化の多様さが、絵と簡単な文でまとめられており、それぞれの特徴を理解することができる図書である。</p> <p>表紙裏には、世界地図が描かれている。本文で触れられている国の名前には、本文と世界地図の両方に番号が記されており、国の位置を確認し、地理的状況を踏まえて特徴を考えることにもつなげることができる。</p>				
対 象 学 年	中学部2年(重複学級)	障がい種別	病弱	該当教科	社会
選 定 の 理 由	<p>児童生徒の実態</p> <p>本生徒は、小児がんで入退院を繰り返しており、知的障がいを併せ有している。病状により、家庭、病棟以外での生活経験が少ない。日本の歴史が好きで、戦国時代の武将について調べ、人物像や歴史的背景、地域の暮らしや産業等にも詳しい。外国のことについては、世界地図を広げて、国旗を見ることを好み、国旗当てゲームなどをして楽しんでいる。</p> <p>そこで、本書を活用して、本生徒が得意としている日本の歴史や文化の知識や考え方を基に、世界の国々の文化や風習の特徴を理解したり、背景について考えたりしながら学びを深めていくことが期待できる。また、興味を持った国について、さらに追究して調べるといった発展的な学習についても期待できる。</p>	<p>(1) 本書を読む。</p> <p>(2) 本書の内容で、初めて知ったことを発表する。</p> <p>(3) 文化や風習の特徴を確認し、世界地図等を活用しながら、自然や気候、歴史的背景と結び付けて特徴を理解する。</p> <p>(4) 本書の内容で、もっと調べてみたいことを発表する。</p> <p>(5) 調べ方・まとめ方について考える。</p> <p>(6) 選んだ内容について調べる。</p> <p>(7) 調べたことをまとめる。</p> <p>(8) まとめたことを発表する。</p> <p>(9) 発表を聞いて、感想を伝え合う。</p> <p>(10) 調べたことや友達の発表で聞いたことをもとに、次に調べてみたいことについて発表し、学習を振り返る。</p>			

(記入上の注意)

- 1 対象学年の()は、訪問教育及び重複学級の場合に記入すること。
- 2 「児童生徒の実態」は、下記の観点で記入すること。
 - (1) 該当教科との関連で実態を具体的に記入すること。
 - (2) 選定した図書の有効性・必要性について記入すること。
- 3 「指導の概略」は、教科書の利用による指導内容・方法の概略を記入すること。

一般図書選定の理由書

番 号	12
--------	----

学校名 _____

担当者名 _____

図 書 名	おすしの さかな	発 行 者 名	ひさかた
図 書 の 内 容	<p>本書は、鮮やかな写真で寿司や材料となっている魚介類を紹介し、それぞれの魚介類の色、形、大きさなどの固有の形態や生態を理解することができる図書である。</p> <p>まぐろ、あじ、さけ、いか、えびを中心に取り扱っており、巻末には、しらうお、ほたて、あかがいなどの寿司と材料の写真が紹介され、様々な魚介類の形態や生態を調べ、差異点や共通点に気付いたり、新たな疑問を抱いたりすることにつながるができる。</p>		
対 象 学 年	中学部1年	障がい種別	知的障がい 該当教科 理科
選 定 の 理 由	児 童 生 徒 の 実 態	<p>本生徒は、小学校の知的障がい特別支援学級から特別支援学校に進学してきた生徒であり、小学校では理科の学習に意欲的に取り組んできた。学習活動では、身近な題材を取り入れることにより、理解が一層深まる児童であり、興味を持った内容については、身近な大人に聞いたり、図書やインターネットで調べたりする。</p> <p>本生徒にとって身近な食べ物である寿司を通して、材料の魚介類の形態や生態のおおよそを理解することが期待できる。また、紹介しているまぐろ、あじ等の形態や生態をよりくわしく調べ、差異点や共通点に気付いたり疑問を持ったりすることにもつながられると考える。</p>	
	指 導 の 概 略	<p>(1) 自分が好きな寿司を話したり、友達が好きな寿司を聞いたりする。</p> <p>(2) 寿司の材料を考える。</p> <p>(3) 「寿司の秘密大辞典」を作成することを決める。</p> <p>(4) まぐろの形態や生態等確かめる。</p> <p>(5) あじ、さけの形態や生態等確かめる。</p> <p>(6) まぐろ、あじ、さけの形態や生態の差異点や共通点確かめる。</p> <p>(7) いか、えびの形態や生態等確かめる。</p> <p>(8) 調べたい魚介類を選んで調べる。</p> <p>(9) 調べた魚介類の形態や生態をまとめたり、発表したりする。</p> <p>(10) 学習を振り返る。</p>	

(記入上の注意)

- 1 対象学年の()は、訪問教育及び重複学級の場合に記入すること。
- 2 「児童生徒の実態」は、下記の観点で記入すること。
 - (1) 該当教科との関連で実態を具体的に記入すること。
 - (2) 選定した図書の有効性・必要性について記入すること。
- 3 「指導の概略」は、教科書の利用による指導内容・方法の概略を記入すること。

一般図書選定の理由書

番 号	13
--------	----

学校名 _____

担当者名 _____

図 書 名	わくわく！かたちのえほん		発 行 者 名	P H P	
図 書 の 内 容	<p>本書は、自然や身近なところにある「かたち」「ずけい」を材料に、楽しみながら形の概念を身に付けられる図書である。基本的な形である丸、三角、四角の形について、それぞれ4ページにわたって、実際の形と概念、身の回りや実際の生活場面にある形が、楽しくなるような絵、分かりやすい文章で詳しく書かれており、形についての関心が高まる図書である。厚さや立体についても触れられており、算数に関する広い内容を扱っている図書である。</p>				
対 象 学 年	小学部4年（重複障がい）	障がい種別	聴覚障がい	該当教科	算数
選 定 の 理 由	児 童 生 徒 の 実 態	<p>本児童は、聴覚障がいがあり、聴力が左右とも78dBで、知的発達が5歳程度である。補聴器をつけた状態で、ゆっくりと大きな声で話す言葉を聞き取ることができる。また、日常生活はほぼ自立しており、身の回りの物への関心も広がってきている。</p> <p>本児にとって、楽しくなるような絵で分かりやすく描かれている本書を活用することで、身近な生活のなかでの形への関心を高め、形に着目して区別したり、同じ形として認識して選んだり、似ているもの形のを結びつけて捉えたりすることにつながれると考える。また、厚さや立体について触れられているページを活用することにより、数学的内容や活動を広げていくことについても期待できる。</p>			
	指 導 の 概 略	<p>(1) 「まるって どんなかたち？」を教師と一緒に読む。 (2) 教室や学校の中の「まるいもの」を探して、発表する。 (3) 「さんかくって どんなかたち？」を教師と一緒に読む。 (4) 教室や学校の中の「さんかくのもの」を探して、発表する。 (5) 「しかくって どんなかたち？」を教師と一緒に読む。 (6) 教室や学校の中の「しかくのもの」を探して、発表する。 (7) 「ごかくけいって どんなかたち？」から最後までを教師と一緒に読む。 (8) 教師が用意したいろいろな形の紙を使って、年間を通して「春」「夏」「秋」「冬」をテーマに造形活動に取り組む。 (9) 学習を振り返る。</p>			

(記入上の注意)

- 1 対象学年の()は、訪問教育及び重複学級の場合に記入すること。
- 2 「児童生徒の実態」は、下記の観点で記入すること。
 - (1) 該当教科との関連で実態を具体的に記入すること。
 - (2) 選定した図書の有効性・必要性について記入すること。

3 「指導の概略」は、教科書の利用による指導内容・方法の概略を記入すること。
(様式2-2)

一般図書選定の理由書

番号	14
----	----

学校名 _____

担当者名 _____

図書名	サンドイッチ サンドイッチ	発行者名	福音館
図書の内容	<p>本書は、身近な食材を使ってサンドイッチを調理する物語であり、調理をする登場人物は挿絵として描かれず、登場人物の行動や思考が短い文章で表現されている。「はじめに〇〇」、「つぎに〇〇」、「こんどは〇〇」、「さいごに〇〇」などの言葉が用いられており、サンドイッチができあがっていく挿絵とあわせながら時間の経過をとらえやすくなっている。</p> <p>白地の背景にやわらかなタッチで食材が大きく描かれており、実際のパンや具材をイメージしやすい図書である。</p>		
対象学年	小学部4年	障がい種別	知的障がい 該当教科 国語
選定の理由	<p>本児童は、知的発達が4歳程度で慢性疾患があり、小学部低学年の頃までは、欠席が多かったが、小学部3年になり1年間の多くを学校で過ごすことができるようになってきた児童である。作物を育てることや食べることへの関心が高い。</p> <p>本書を活用し、複数の場面の挿絵を見比べること、「はじめに」、「つぎに」、「こんどは」、「さいごに」という時間の経過を表す言葉や「〇〇も」という加える際に使う言葉に着目することなどを通して、時間の経過などの大体をとらえることにつながると考える。また、各教科等を合わせた指導などの調理場面と関連付けながら、時間の経過に着目した料理法の説明書を作成することにより、学んだことを活用することにもつながると考える。</p> <p>（1）教師と一緒に読み、あらすじを確かめる。 （2）挿絵と文章を手がかりに、一つ一つの場面を確かめる。 （3）複数の場面の挿絵を見比べて、正しい順番に並べる。 （4）正しい順番に並べた挿絵と文章を一致させる。 （5）時間の経過を表す言葉に着目する。 （6）自分が好きな具材を選び、作り方を文章で表す。 （7）友達が書いた文章を読み比べる。 （8）文章で書いたとおりに、サンドイッチを作る。 （9）学習を振り返り、学校生活での活用場面を考える。</p>		

(記入上の注意)

- 1 対象学年の()は、訪問教育及び重複学級の場合に記入すること。
- 2 「児童生徒の実態」は、下記の観点で記入すること。
 - (1) 該当教科との関連で実態を具体的に記入すること。
 - (2) 選定した図書の有効性・必要性について記入すること。
- 3 「指導の概略」は、教科書の利用による指導内容・方法の概略を記入すること。

一般図書選定の理由書

番 号	15
--------	----

学校名 _____

担当者名 _____

図 書 名	まどのむこうの くだもの なあに？		発 行 者 名	福音館	
図 書 の 内 容	<p>本書は、拡大された果物の絵の色や形が本物に近い形で表されている。また、コントラストも高く、絵がはっきりして見やすい図書である。果物の一部や全体、断面の特徴が細かく描かれており、果物の特徴を理解することにつながる図書である。</p> <p>また、「いちごを切ったら、中身は白かった」など、ページをめくりながら声に出して特徴を話したり、他の果物や野菜を想像したりと活動の広がりも期待できる図書である。</p>				
対 象 学 年	小学部2年（重複学級）	障がい種別	視覚障がい	該当教科	生活
選 定 の 理 由	児 童 生 徒 の 実 態	<p>本児童は、知的発達が3歳程度の弱視の児童で、両眼の視力は、0.1程度である。物を見るときは、近づいて観察する姿が見受けられる。食べ物の名前をいくつか知っており、食べ物に関心をもっている。</p> <p>本書を活用することで、果物や野菜の名前や色などの特徴を指さしたり、教師の言葉を復唱したりすることができると考えられる。また、実物を実際に見たり、触ったり、切ったりして観察し、においや重さ、感触、味を確かめることで、物の特徴を捉えることも期待できる。さらに、ほかの果物や野菜への興味関心、活動の広がりが期待できる。</p>			
	指 導 の 概 略	<p>(1) 教師による読み聞かせを聞く。</p> <p>(2) 気に入ったページを指さしたり、話すなどして、教師に伝える。</p> <p>(3) 気に入ったページをじっくり見て、色や形に気付く。</p> <p>(4) 畑で収穫した野菜を観察したり、見たり、切るなどして観察し、発見したことを表現する。</p> <p>(5) スーパーに行き、野菜を購入し、見たり切ったりするなどして観察し、発見したことを表現する。</p> <p>(6) 果物や野菜の写真を撮り、観察したり、特徴を絵に描いたりする。</p> <p>(7) 発見したことを発表し、学習を振り返る。</p>			

(記入上の注意)

- 1 対象学年の（ ）は、訪問教育及び重複学級の場合に記入すること。
- 2 「児童生徒の実態」は、下記の観点で記入すること。
 - (1) 該当教科との関連で実態を具体的に記入すること。
 - (2) 選定した図書の有効性・必要性について記入すること。
- 3 「指導の概略」は、教科書の利用による指導内容・方法の概略を記入すること。

一般図書選定の理由書

番 号	16
--------	----

学校名 _____

担当者名 _____

図 書 名	こえでおぼえる123かずのほん	発 行 者 名	ポプラ社		
図 書 の 内 容	<p>本書は、数のまとまりや数え方、数詞とものものの関係を、分かりやすい図や明るい絵で構成している図書である。また、和が10までの数の加法や減法、時計の読み方についても取り扱っている。</p> <p>さらに、付属の機器を使用して本書で学習したことを確認しながら自力で学習を進めたり、付属のペンでおけいこシートに数字を書いたり、おはじきを使って数を数えたりするなどの学習活動を展開することができる図書である。</p>				
対 象 学 年	中学部1年(重複学級)	障がい種別	視覚障がい	該当教科	数学
選 定 の 理 由	児 童 生 徒 の 実 態	<p>本生徒は、知的発達に6歳程度の全盲の生徒である。点字を使用し、下学年の教科書を使って算数の学習をしており、10までの数の合成・分解や一つの数を他の数と関係づけて見ることを深めている段階である。</p> <p>本書を活用し、数のまとまりや数え方、数詞とものものの関係について、日常の具体的な場面と関連づけながら学習することが期待できる。また、具体物を操作する動きと用語(例えば、合わせて幾つ、残りは幾つなど)を結びつけて活動することにもつなげられると考える。さらには、「あさごはんをたべます、何時かな？」等の生活と結びつけながら時刻を理解することもできると考える。</p>			
	指 導 の 概 略	<p>(1) 本書の構成を確認する。</p> <p>(2) 「ステップ1かずとすうじ11～20」のページのチューリップとチョウにおはじきを対応させて数を数えるなどのように、ものの個数や順序などについて、おはじきを使ったり、数を用いて表したりする。</p> <p>(3) 「ステップ2なんばんめの動物」の「まえから(うしろから)なんばんめ？」について、おはじきを使ったり、数を用いて表したりする。</p> <p>(4) 「ステップ3とけい」の音声を聞いて、時計の模型を操作し、時刻を表す。</p> <p>(5) 「ステップ4」以降、おはじきボードを活用するなどして、数の構成・多少・合成・分解等について学習する。</p> <p>(6) 学習を振り返る。</p>			

(記入上の注意)

- 1 対象学年の()は、訪問教育及び重複学級の場合に記入すること。
- 2 「児童生徒の実態」は、下記の観点で記入すること。
 - (1) 該当教科との関連で実態を具体的に記入すること。
 - (2) 選定した図書の有効性・必要性について記入すること。
- 3 「指導の概略」は、教科書の利用による指導内容・方法の概略を記入すること。

一般図書選定の理由書

番 号	17
--------	----

学校名 _____

担当者名 _____

図 書 名	どうぶついろいろかくれんぼ		発 行 者 名	ポプラ社	
図 書 の 内 容	<p>本書は、黄色、赤、青、緑のはっきりした色彩のページに、動物の顔が描かれており、動物の形にくり抜かれた次のページを重ねることで、動物が現れる仕掛けのある図書である。どんな動物が現れるのか、色から想像したり、書かれている鳴き声やその動物の特徴を手掛かりにしたりして、楽しみながら読み進めることができる。さらに、身の回りにある色に注目したり、自分が表したい動物を選んだりすることができる。</p>				
対 象 学 年	小学部1年(重複学級)	障がい種別	病弱	該当教科	図画工作
選 定 の 理 由	児 童 生 徒 の 実 態	<p>本児童は、慢性疾患があり、入退院を繰り返している。また、知的障がいを併せ有している。生活場面や学習場面において活動の制限があり、生活経験が少ない。しかし、動物に興味があり、動物図鑑や動物が登場する絵本などを好んで読んでいることが多い。</p> <p>本書を活用して、自分の好きな動物の色や形に関心を持ち、いろいろな用具を用いて動物の色を塗ったり、動物の形をなぞったり、材料を切ったり、貼ったりして作品をつくりだすことの楽しさに気付くとともに、形や色などにかかわることによる楽しい生活を創造することにつなげることが期待できる。</p>			
	指 導 の 概 略	<p>(1) 好きな動物について発表する。 (2) 「わくわく動物園」をつくることを知る。 (3) 色や形に注目しながら、教師と一緒に読む。 (3) 本書の中で一番気に入った動物を発表する。 (4) 気に入った動物の形をなぞる。 (5) なぞった線をはさみで切る。 (6) 動物の形に目や鼻など必要なパーツを貼る。 (7) (4)～(6)を繰り返す。 (8) 「わくわく動物園」として掲示し、感想をもらう。 (9) できるようになったことなどを発表し、学習を振り返る。</p>			

(記入上の注意)

- 1 対象学年の()は、訪問教育及び重複学級の場合に記入すること。
- 2 「児童生徒の実態」は、下記の観点で記入すること。
 - (1) 該当教科との関連で実態を具体的に記入すること。
 - (2) 選定した図書の有効性・必要性について記入すること。
- 3 「指導の概略」は、教科書の利用による指導内容・方法の概略を記入すること。

一般図書選定の理由書

番 号	18
--------	----

学校名 _____

担当者名 _____

図 書 名	ほしのさんちの おそうじ だいさくせん	発 行 者 名	ポプラ社		
図 書 の 内 容	<p>本書は、家庭を舞台とした物語を通して、整理整頓や掃除などに関わる活動を取り扱っている図書である。</p> <p>少し離れて見てみることで部屋が散らかっていることに気付くことや、タオルの絞り方、テーブルの拭き方など、整理整頓や掃除のポイントも紹介されている。部屋をきれいにすることで、一緒に暮らす人の気持ちもよくなることについても触れながら手伝い・仕事の意味についても考えることができる内容である。</p>				
対 象 学 年	小学部6年（重複学級）	障 が い 種 別	聴 覚 障 が い	該 当 教 科	生 活
選 定 の 理 由	児 童 生 徒 の 実 態	<p>本児童は、聴力が80 dB程度で知的障がい併せ有している児童であり、身辺処理はほぼ自立している。国語では、読み物教材を好み、挿絵と本文を結びつけて登場人物の行動や場面の様子などを想像し、登場人物になりきって演じることができる。気に入った図書は、何度も繰り返し読むことがある。</p> <p>本児童が好む読み物教材を通して、登場人物や場面の様子を読み取り、自分の経験と結び付けて想像を広げたり理解を深めたりしながら、実際の家庭生活と関連させて持ち物の整理整頓や掃除などについて学び、生活力を高めていくことができると思う。また、片付けや清掃から、人に対してのおもいやりや優しさを学び、心豊かな人間性を育むことにもつながると考える。</p>			
	指 導 の 概 略	<p>(1) 教師と一緒に読み、あらすじを確かめる。</p> <p>(2) 読んで分かったことや感じたことをまとめる。</p> <p>(3) 登場人物の行動や場面の様子を確認する。</p> <p>(4) 学校生活と家庭生活での整理整頓や掃除について整理する。</p> <p>(5) 学校生活でできそうな活動を考える。</p> <p>(6) 学校生活の中で、本書で学んだことを意識しながら取り組む。</p> <p>(7) 学校生活の中での整理整頓や掃除を振り返る。</p> <p>(8) (6) (7) を繰り返す。</p> <p>(9) 家庭生活場面で取り組んでみたいことを確かめる。</p> <p>(10) 本児童の家庭生活場面を想定しながら、「〇〇さんちのおそうじだいさくせん」を教師と一緒に制作する。</p> <p>(11) 家庭生活で取り組んだことを発表して振り返る。</p>			

(記入上の注意)

- 1 対象学年の()は、訪問教育及び重複学級の場合に記入すること。
- 2 「児童生徒の実態」は、下記の観点で記入すること。
 - (1) 該当教科との関連で実態を具体的に記入すること。
 - (2) 選定した図書の有効性・必要性について記入すること。
- 3 「指導の概略」は、教科書の利用による指導内容・方法の概略を記入すること。

一般図書選定の理由書

番 号	19
--------	----

学校名 _____

担当者名 _____

図 書 名		くにゃ?	発 行 者 名		ほるぷ出版	
図 書 の 内 容		<p>本書は、四角、丸、三角がつまみを引っ張ると「くにゃっ」と伸びたり、とげが生えたりして、不思議な形に変化するしかけ絵本である。色のコントラストが高く、絵がはっきりしており、変化する部分に注目することができる。</p> <p>また、自分で操作したり、変化する形をじっくり見たりすることで、形の違いに気付くことができる。</p>				
対 象 学 年		小学部1年(重複学級)	障がい種別	肢体不自由	該当教科	算数
選 定 の 理 由	児 童 生 徒 の 実 態	<p>本児童は、肢体不自由と知的障がいを併せ有している。脳性まひによる両下肢機能障がいがあり、車椅子で生活をしている。日常生活は、全般に支援が必要である。家族や教師など、身近な人との関わりを好み、話しかけると顔をじっと見つめている。大きな音は苦手であるが、静かに絵をじっくり見ながら、読み聞かせを楽しむことができる。</p> <p>本書を活用することで、個々の辺の長さや角の大きさではなく、形の変化を楽しみながら、全体で形をとらえ、その変化を楽しみながら図形に親しむことにつながるものとする。また、自分で操作したり、教師とやり取りしたりしながら繰り返し形に触れることが期待できる。</p>				
	指 導 の 概 略	<p>(1) 教師が操作しながら、一緒に本書を見る。</p> <p>(2) 教師と一緒に操作しながら、本書を見る。</p> <p>(3) 教師と一緒に形の変化に合わせて声を出してみる。</p> <p>(4) 好きな形を選ぶ。</p> <p>(5) 教師が用意した形カードの中から、本書と同じ形を見つける。</p> <p>(6) (4)と(5)を繰り返す。</p> <p>(7) 学習を通して気に入った形を選び、学習を振り返る。</p>				

(記入上の注意)

- 1 対象学年の()は、訪問教育及び重複学級の場合に記入すること。
- 2 「児童生徒の実態」は、下記の観点で記入すること。
 - (1) 該当教科との関連で実態を具体的に記入すること。
 - (2) 選定した図書の有効性・必要性について記入すること。
- 3 「指導の概略」は、教科書の利用による指導内容・方法の概略を記入すること。

一般図書選定の理由書

番 号	20
--------	----

学校名 _____

担当者名 _____

図 書 名	しりとりしましょ！		発 行 者 名	リーブル	
図 書 の 内 容	<p>本書は、食べ物のしりとりの様子が挿絵や文字で表されており、五十音順に並んでいる。濁音や半濁音から始まるしりとりもあり、最後は、ポップコーンの「ん」で終わる。通常、カタカナで表記されるものについては、ひらがな表記の下にカタカナが書かれている。</p> <p>文字が身近な言葉と結びついており、文字の獲得や語彙の広がり期待できる図書であるとともに、聞くこと・話すこと、読むことなどに関する多様な言語活動にもつながる図書である。</p>				
対 象 学 年	小学部5年	障 が い 種 別	知的障がい	該 当 教 科	国語
選 定 の 理 由	児 童 生 徒 の 実 態	<p>本児童は、知的発達6歳程度で、平仮名に興味を持ち始め、自分の名前などの身近な平仮名を読んだり書いたりすることができる。休み時間には、絵や記号を描いて遊んだり、友達や教師とおしゃべりをしたりして楽しんでいる。</p> <p>本書を活用することにより、平仮名の文字や平仮名で表された語に関心を持ち、音節があることへの気付きにつながるものと考えられる。また、食べ物や、食べ物から広がる語彙、平仮名についても楽しみながら学習することが期待できるとともに、しりとり遊びを通して、伝え合う力の素地を育てることについても期待できる。</p>			
	指 導 の 概 略	<p>(1) 「しりとりしましょ！のあそびかた」のページで、ルールを確かめる。</p> <p>(2) 文字の先頭や終わりに注目しながら、本書を教師と一緒に読む。</p> <p>(3) しりとりのように、教師と交互に食べ物の名前を読む。</p> <p>(4) 教師としりとりをする。</p> <p>(5) 教師や友達としりとりをする。</p> <p>(6) 好きな食べ物を見つける。</p> <p>(7) 好きな食べ物の文字を確かめる。</p> <p>(8) 好きな食べ物の平仮名を書く。</p> <p>(9) 話し言葉や文字を使ってしりとりをする。</p> <p>(10) 学習を振り返る。</p>			

(記入上の注意)

- 1 対象学年の()は、訪問教育及び重複学級の場合に記入すること。
- 2 「児童生徒の実態」は、下記の観点で記入すること。
 - (1) 該当教科との関連で実態を具体的に記入すること。
 - (2) 選定した図書の有効性・必要性について記入すること。
- 3 「指導の概略」は、教科書の利用による指導内容・方法の概略を記入すること。